

真冬の生物

■冬越しをする生物

気温が下がり、生物の活動を見ることは難しい。風の強い日で、暖かい時期のように干潟を散策する人も見られない。

河口・潟湖内で採集を試みたが、イシガレイを採集することはできなかった。七北田川河口では、全長4cm程度のヒメハゼを採集した

(Fig.1)。アサリは8mm程度の個体を採集した (Fig.2)。昨年はこの時期にソトオリガイも採集したが、今回の調査では確認できなかった。

潟湖内で、全長2cm程度（触角を除く）のエビの仲間を採集した (Fig.3)。片方の鋏足は欠損している。体全体は透明だが、残った鋏足には色素が見られる (Fig.4)。



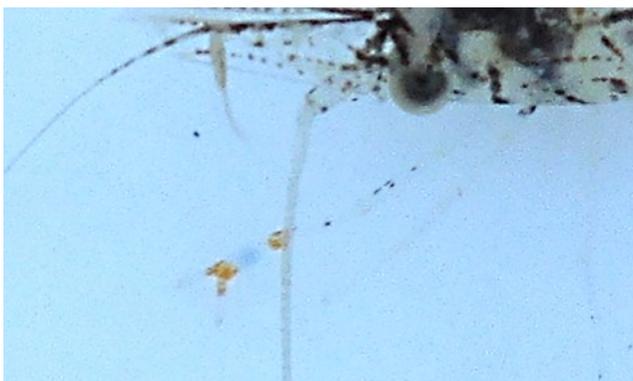
(Fig.1 ヒメハゼ)



(Fig.2 アサリ)



(Fig.3 エビの仲間)



(Fig.4 鋏足)